

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

コシヒカリ1等米生産を目指し、

5/15頃中心の田植えを徹底しましょう！

- これからは気温が高くなる時期です。育苗ハウスは十分換気を行い、がっちり苗に仕上げましょう。
- 基肥量は、土壌条件に応じた**施肥基準**となるよう調整しましょう。
- 高温化に伴い、代かき後の雑草の発生が早くなっています。除草剤は遅れずに散布しましょう。

1. 硬化期の育苗管理

- 日中のハウス内温度は**25℃以下**を目安にする。
(特に晴天日の温度上昇は激しいので、ハウス内温度が上がり始める前に換気を始める)。
- かん水は、床土の乾きに応じ、的確に行う。
(育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意)
- 田植7～10日前からは、夜間もハウスを開け外気にならす。

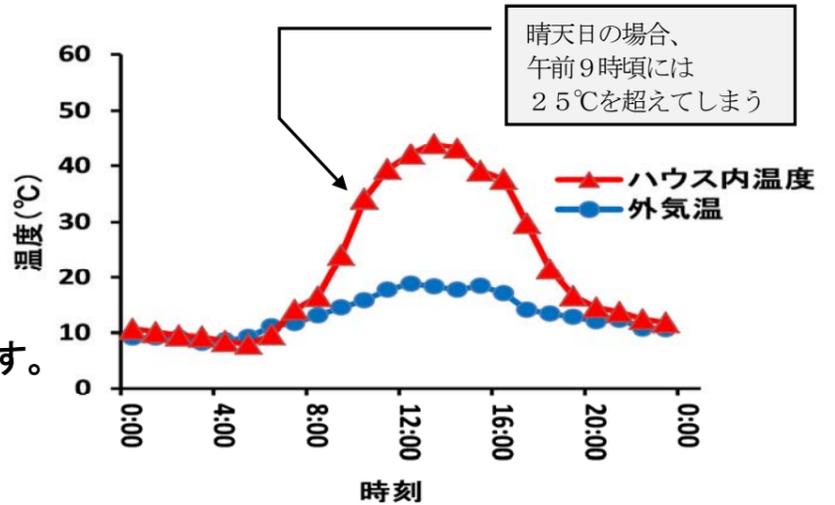


図 晴天日の外気温とハウス内温度の推移

2. 本田準備

- 雑草の発生を抑えるため、代かきは田植予定日の**3～5日前**に実施。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わら等の埋没に努める。また、濁り水は用水へ流さない。

3. 田植と水管理

- 栽植密度は**70株/坪**、植付本数は**3～4本/株**、植付深さは**3cm程度**（第1葉がみえる程度）とする。
- 田植直後は水没しない程度のやや深水、活着後は田面が露出しない程度の浅水とし、早朝入水・日中は止水で田水温が高くなるように努める。

<基肥の施用>

- 基肥量は、土壌に応じた**施肥基準**を遵守する。
- ※具体的な施肥量は、地域ごとの施肥設計をご覧ください。

表 苗の掻取量と栽植密度及び使用苗箱数の関係

	掻取量	平均植付本数	使用苗箱数
70株植え	やや少なめ	3.6本/株	20枚/10a
60株植え	標準	4.6本/株	20枚/10a

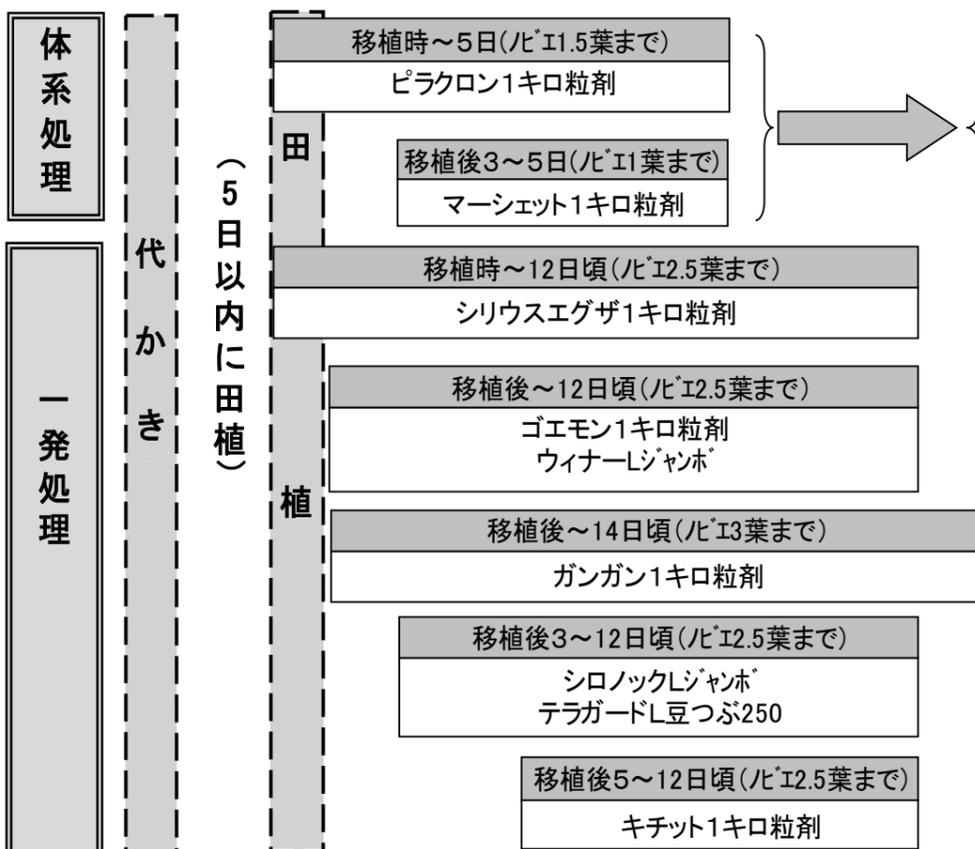
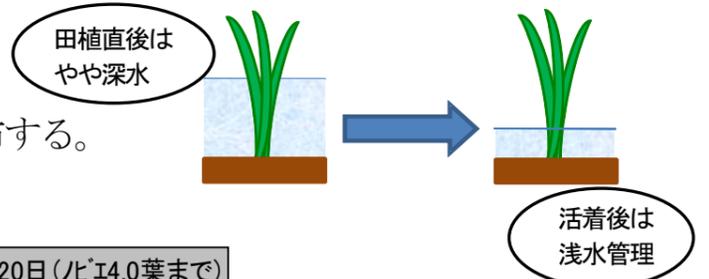
注) 横送り回数は24回(11.6mm)で固定

標準設定では、大株になるので注意！

70株植えにしても、適正植付本数にすれば、箱枚数は増えません！

4. 除草剤の散布

- 効果を高めるため、初期除草剤は代かきから1週間以内を目途に散布する。
- 散布後は、5～7日間は湛水状態を保ち、落水・かけ流しをしない。



ポイント厳守で、効果アップ！

除草剤を上手に使うためのポイント！

ポイント1 あぜの管理で注意することは？
田んぼの水があぜの外に流れ出すと、除草剤の効果も低下します。あぜはモグラ等の穴や崩れがないようにしっかりと整備し、あぜ波板や畦畔シートなどをつけて漏水を防ぎましょう。

ポイント2 除草剤の効果を上手に出すための水管理って？
農薬を散布するときは、よく拡散するように、十分な湛水状態にします。散布後は、除草剤の処理層を壊さないために、散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにします。また、勢いよく注水すると処理層が壊れてしまうので、差し水はゆっくり行います。

散布後7日間は、落水・かけ流しをしないでください

効果に大きな違いが！
3日間止水した場合 vs 7日間止水した場合